

2010 年 3 月吉日

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』17号発行

2010 年 3 月発行(年 1 回発行)

B5 版 / 116 頁 / 900 円(税込) 送料 80 円

虎屋文庫は和菓子をテーマとした展示、講演会の開催ほか、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行なっております。この度、機関誌『和菓子』第 17 号を発行いたしましたので、見本誌をお送りするとともに、概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

菓子や菓子に関連する事柄についての論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1 年に 1 回、発行しております。毎回「茶の湯と和菓子」「唐菓子」「笑いの世界と和菓子」など、菓子に関わる特集を設けています。

第 17 号の特集—江戸と菓子

菓子は江戸時代の都市で発達し、人々に親しまれていました。しかし、菓子あるいは菓子屋と、社会及び都市に住む人々との関わりについては、いまだ十分に明らかにされていません。

今回の特集にあたっては、江戸を中心に都市で菓子がどのように受容されていたか、文献史料、文芸、絵画の切り口から論じていただきました。

吉田伸之先生は、江戸の町において食を商いとしていた「食類商人」(菓子を含む)のありようについて論じてくださいました。長島弘明先生は、文芸作品におけるカステラと金平糖の描かれ方に着目、菓子が人々にどのように認識されていたのか、その時代変遷を明らかにしています。大久保純一先生は、錦絵や摺物といった絵画資料に描かれた菓子情報を読み解かれ、名所絵に描かれた菓子売りの姿が実態に近い一方で、芝居絵などでは、高級な菓子が登場人物の身分や属する社会階層を象徴する例があることなどを指摘されました。

執筆者紹介

- 食類商人について 東京大学大学院人文社会系研究科教授 吉田伸之
- 江戸文学と南蛮菓子 - カステラと金平糖 - 東京大学大学院人文社会系研究科教授 長島弘明
- 錦絵に描かれた菓子 国立歴史民俗博物館研究部教授 大久保純一

虎屋の御用記録の翻刻

長年にわたって御所の御用を勤めてきた虎屋には、数多くの古文書が残されています。そのなかでも「後陽成院様御代より御用諸色書抜留」は、重要な御所御用や虎屋にとって忘れてはならない大切な出来事を記録した史料です。大部に及ぶ本史料を数回に分けて翻刻。6 回目にあたる今号は、その最終回にあたり、桃園天皇の法事御用や、「関東御本丸」(江戸城か)へのお届け、菓子に「岡太夫」などの銘をいただいた際の記録も見られます。

購入方法

- 書店には流通しておりません。郵送にて販売致します。(1冊 900 円 送料/1冊 80 円)
 - 虎屋文庫資料展開催中には、虎屋ギャラリー受付にて販売いたします。
- 次回開催 7月23日(金)～9月20日(月) 「和菓子の歴史」展(仮)

バックナンバーも販売中

創刊号～3号は品切。4号～16号は販売中。

4号特集 地域文化としての和菓子

5号特集 和菓子原材料の現在

6号特集 茶の湯と和菓子

7号特集 歴史資料と和菓子

8号特集 外来食文化と和菓子

9号特集 九州

10号特集 民俗と菓子

11号特集 菓子とまじない、占い

12号特集 唐菓子

13号特集 笑いの世界と和菓子

14号特集 鎖国時代の異国人への饗応菓子

15号特集 菓子道具

16号特集 武家社会と菓子

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-8401 東京都港区赤坂 4 - 9 - 22

株式会社 虎 屋 虎屋文庫

TEL 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

E-mail bunko@toraya-group.co.jp

*** 報道関係の方へは、ご希望があればバックナンバーを贈呈しております。**

上記までご連絡下さいませ。